

令和8年第3回美浜町議会定例会

(令和8年6月8日開議)

町長あいさつ（提案理由の説明）

令和8年第3回美浜町議会定例会の開会にあたり、議員各位には、お忙しい中お繰り合わせご出席いただき厚く御礼を申し上げます。

はじめに、本町出身で日本ラグビー界を代表する山口良治氏が、去る5月29日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

往年、山口氏は日本代表選手として活躍され、現役引退後は指導者として後進の育成に尽力されました。その熱意あふれる指導力と高潔なお人柄は、日本ラグビー界の道標的な存在として信望も厚く多大な功績を残されました。

また、ふるさと美浜に深い愛情を注がれ、今年で10回目を迎える「山口良治杯美浜町少年ラグビー大会」は、子どもたちに託した想いとふるさとの未来を育む舞台となっています。

改めて、これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、そのご遺志をしっかりと受け継ぎ、教え子の皆様や関係者とともに、本大会を盛り上げていきたいと考えています。

さて、この春の叙勲において、阿曾^{あそてつお}哲夫氏が長年にわたり郵政事業に尽力され、郵政の発展に多大な功績を挙げられたことが高く評価され、栄えある瑞宝双光章を受章されました。

阿曾氏は、福井、石川両県の4郵便局で局長を務められ、郵便事業の推進と、人と人をつなぐ郵便サービスの振興に尽力され、地域の発展に大きく貢献されました。

改めて、阿曾氏の栄誉を心からお祝い申し上げますとともに、深甚なる敬意を表する次第であります。

先月、美浜3号機の2次系高压タービンで蒸気漏れが確認されたことから、原子炉を手動停止する措置が取られました。その後、冷温停止に至る過程で同じ系統の脱気器安全弁が作動したことから、大きな音とともに大量の蒸気が発電所建屋外に放出される事態となりました。

これは安全装置が機能したものであり、大事に至らず環境への影響もありませんでしたが、地元住民の皆様にも、強い恐怖感と不安を与えたことは大変遺憾であります。

事業者に対し、不安の払拭ときめ細やかな地元説明に徹するよう強く求め、町民への周知と広報に努めたところであります。

併せて、徹底した原因の究明と調査・点検箇所の「盲点」の洗い出し、安全最優先での運用はもとより、緊急時の迅速かつ的確な情報発信など、地元住民に寄り添ったきめ細やかな対応策を講ずるよう要請いたしました。

さて、令和8年度は、まちづくりの指針となる第六次美浜町総合振興計画のスタートの年であり、将来像「ひと育み 未来に挑む 共創のまち」の実現に向けた推進体制を強化いたしました。

先ず、施策の柱となる「みはまシナプスプロジェクト」を機動的に推進するため、「まほら」に専任室長を配置するとともに、民間等から専門人材を登用いたしました。

引き続き「まちづくりは、人づくり」にあるとの思いを持って、まちづくりの推進力となる地域愛あふれる人づくりに注力してまいります。

また、観光は地域経済への波及効果を最大限に引き出す総合産業であり、「まちづくりのエンジン」であります。関連施策を有機的に機能させる特命幹として政策参与を配置、併せて「観光まちづくり推進室」を設置いたしました。

また、少子高齢化・人口減少対策を機動的に推進すべく「町の将来を担う子どもたちは、町の宝」との思いを持って、子ども・子育て施策を強力かつ包括的に推進する「こどもまんなか連携室」を設置いたしました。

そのほか、「高齢者はまちづくりの貢献者」「地場産業はまちの「^{もと}基」」「集落の元気は町の元気」との思いを持って、町民の皆さんの参画と声をいただきながら、福祉施策や産業施策、地域施策を進めてまいりますので、議員各位のご理解とご協力をお願いする次第であります。

それでは、町政諸般のご報告を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

はじめに、観光施策について申し上げます。

百年に一度の好機と謳われた北陸新幹線敦賀開業から早くも3年目を迎えました。

昨年度の観光入込客数は約140万人で、前年比約4%の増、開業前に比べ約2割増となっており、開業効果が続いていると受け止めています。

本年度は、5月末時点で前年に比べ若干の増加傾向にあるものの、開業効果が落ち着きを見せるこの3年目が正念場と云われており、一過性のにぎわいで終わることなく、持続可能な観光の推進に努める必要があると考えています。

そのため、一年前倒しで策定した第二次美浜町観光振興計画を柱に、美浜版体験コンテンツの造成や光の波プロジェクトなど新たな魅力の創出はじめ、宿泊機能の充実強化、消費機会ロスの解消など、新たなステージで経済効果を最大限に取り込むための周遊滞在型観光の更なる推進に努めてまいります。

今回、そのキックオフイベントとして、来週14日に「なびあす」において、「三方五湖ミライ会議」を開催いたします。

当日は、大阪関西万博を成功に導かれた大阪観光局理事長 溝畑宏氏による講演や観光関係の有識者等によるパネルディスカッションを通して世界に通用する三方五湖の価値やポテンシャルを関係者が共有し、官民一体となって新たなステージで観光戦略を強力に推進する契機にしたいと考えています。

次に、第38回美浜・五木ひろしふるさとマラソンについて申し上げます。

お陰様で、当日は天候にも恵まれ、2,073人の参加者の皆さんには、町が誇る海浜コースを存分に満喫いただくことができ、大会を成功裏に終えることができました。

改めて、参加いただいた皆さん、並びに大会の運営にご理解とご尽力を頂きました五木ひろしさんはじめ関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

次に、関電ローイングセンターみはまについて申し上げます。

先月24日に、長年の悲願、2000メートルコースの延伸工事が完成し、県や町、地元関係者、競技関係者のご出席をいただき、開所式を滞りなく執り行うことができました。

ここに至るまで、ご尽力をいただきました県ご当局、並びにコースの延伸にご理解とご協力

を頂きました関係者の皆様方に心より感謝を申し上げます。

なお、当日は、関西圏9大学のエイト艇による記念レースを開催しましたが、観覧者はじめ多くの方々に、ローイング競技や本施設の魅力を実感いただける絶好の機会となり、次代を担う中高校生にとってもいい刺激になったと受け止めています。

引き続き、スタート地点の整備など国内最高峰の競技環境の整備に注力するとともに、全国大会や国際大会を誘致、合宿地としての利用拡大を図ることで、競技力の向上並びに地域振興に繋げていきたいと考えています。

次に、交流と未来を担う人づくりについて申し上げます。

美浜駅や道の駅から「まほら」「なびあす」までの一帯「にぎわいゾーン」では、多くの皆さんが集う交流とにぎわい機能が形成されつつあります。

今回、このエリアの一角に「なりわい創り」を支援するトライアルフィールドを整備することとしており、シナプスプロジェクトの推進はもとより既存施設との相乗効果を通じて更なるにぎわい機能の充実につなげたいと考えています。

次に、原子力政策について申し上げます。

先般、全国原子力発電所 所在市町村協議会の総会が開催され、私から、リプレースにかかる交付金制度の充実強化、国民理解の醸成に資する「きいぱす」の高度化支援、ワット・ビット連携に資する立地地域への企業誘致支援策について、国へ強く要請いたしました。

今後とも、原子力のパイオニアの町としての誇りと自負をもって立地目線でのエネルギー政策や地域振興が進められるよう議会とともに取り組んでまいりたいと考えています。

次に、防災対策について申し上げます。

町では、災害は必ずやってくるとの危機感を持って防災減災対策や地域防災力の強化に取り組んでいるところであります。

その一環として、避難所の生活環境の向上に資するトイレラックを来月3日に配備するほか、助けあいジャパンと「みんなが元気になるトイレ」災害派遣協力に関する協定を締結いたします。

また、災害物資の備蓄状況を簡便かつ迅速に把握・管理し、調達や輸送等に必要な情報を

効率的に共有する災害物資管理システム「B-PL^{ビープロ}o」を導入いたします。

そのほか、大規模地震発生時における電気火災の防止・抑制に資する、住宅用感震ブレーカー設置にかかる補助制度を創設し、導入促進に努めてまいります。

次に、みんなで取り組む環境保全・美化活動について申し上げます。

町が誇る美しい海浜の環境保全活動「美しい浜プロジェクト」は、多くの皆様のご参加とご協力により6年目を迎えました。

この4月、水晶浜において実施した折には、町民や議員各位、地元企業などから約200人の参加をいただき、漂着ごみが散乱する砂浜が見違えるほど美しい浜に蘇りました。ご協力いただきました皆さん方に厚く御礼を申し上げます。

また、今月14日の日曜日に、内外から約400名の参加をいただき、松原・和田海岸でクリーン・ザ・シー・キャンペーン等と連携した清掃活動を実施することとしています。

こうした活動のほか、三方五湖エリアにおいても地域の皆様の奉仕による清掃活動が続けられており、本町の美しい自然景観の保全やおもてなし意識の高まりを強く感じるところであります。

敦賀市との共同施設となる新清掃センターは、令和9年度の供用開始に向けて建設工事が順調に進められているところであり、引き続き、廃棄物の適正かつ円滑な処理など、町民の皆様が快適に生活できる住民サービスの充実に取り組んでまいります。

昨年秋、水月湖において湖面が白濁し異臭が発生したことから、原因の究明と対策について県や若狭町と協議を進めており、今年度は、県が実態調査に着手いたします。

三方五湖は、我々が誇る大切な財産であり観光資源であります。しっかりと原因を究明し的確な対策が早期に講じられるよう取り組んでまいります。

次に、北前船日本遺産活用事業について申し上げます。

昨年度、北前船日本遺産を活用した地域振興に向けて、地域や有識者による協議会を発足、議論や検討を重ね基本構想を策定いたしました。本年度から、この構想に基づき、古民家を活用した伝承館の整備や屋並みの保全、散策路の整備など、具現化に向けた取組を醸成して

まいります。

次に、国吉城址及び周辺地区史跡整備事業について申し上げます。

若狭国吉城歴史資料館として活用されている旧田辺^{はんだい}半太夫家住宅は、平成30年に国の登録有形文化財に認定されていますが、今回、この母屋と一体的に構築されていた往時の門や塀を再建いたします。町では、この門や塀を一体的建築物として文化財の認定が得られるよう努め、国吉城エリアの魅力アップに繋げていきたいと考えています。

さて、本日ご提案いたしました各議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第33号 美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定につきましては、出入国管理及び難民認定法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第34号 財産の取得につきましては、町民レガッタ用・ローイング艇を購入いたしたく、議会の議決を求めるものであります。

議案第35号につきましては、令和8年4月1日より施行する子ども・子育て支援金制度に伴う必要経費を美浜町国民健康保険事業特別会計において補正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため、3月31日に専決処分いたしましたので、これを報告し議会の承認を求めるものであります。

議案第36号につきましては、地方税法等の一部を改正する法律が3月31日に公布、また、議案第37号につきましては、子ども・子育て支援金制度の創設及び地方税法施行令等の一部を改正する政令が3月31日に公布されました。

4月1日から施行されることに伴い、美浜町税条例及び美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため、3月31日に専決処分いたしましたので、これを報告し議会の承認を求めるものであります。

議案第38号 令和8年度美浜町一般会計補正予算（第1号）につきましては、歳入歳出それぞれ6億8,842万9千円を追加し、予算総額を94億9,440万7千円とするものであります。

今回の補正予算の内容といたしましては、総合振興計画の実現に向け、優先施策を中心に事業実施の効果が高い事業予算を計上し、まちづくりを機動的に進めていくものであります。

併せて、当初予算編成時以降に採択を受けた国や県の補助事業や、計画的あるいは緊急を要する事業などを厳選し計上いたしました。

歳出予算の主な内容を申し上げますと、総務費では、町が管理する街路灯のLED化に係る経費のほか、トライアルフィールドの整備経費、また、エネルギー環境教育体験館整備の実施設経費などで、1億7,899万3千円を計上いたしました。

衛生費では、海岸漂着物撤去処分の経費などで、2,665万8千円を計上したほか、農林水産業費では、新規就農者の機械等の導入を支援する経費のほか、林道の補修経費などで、6,038万3千円を計上いたしました。

商工費では、町内宿泊施設の整備を支援する経費などで、4,309万5千円を計上いたしました。

土木費では、町道日向・湖西線の整備に係る経費のほか、町道の維持補修に係る経費などで、2億1,897万3千円を計上いたしました。

教育費では、生涯学習センターの照明設備の改修に係る経費のほか、若狭国吉城歴史資料館の周辺整備や北前船の史実を活かしたまちづくりを進めるための経費などで、1億3,346万8千円を計上いたしました。

以上が一般会計補正予算の歳出予算の主なものでありますが、これに見合う主な財源といたしまして、町税で2億7,634万円、国・県支出金で2億5,328万5千円、基金繰入金で1億5,581万4千円などを充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、各特別会計の補正予算であります。

議案第39号 令和8年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、帳票の様式変更等によるシステム改修経費として、歳入歳出それぞれ65万3千円を追加し、予算総額を11億1,092万9千円とするものであります。

議案第40号 令和8年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、システム標準化対応のためのシステム改修経費として、歳入歳出それぞれ64万1千円を追加し、予算総額を1億9,932万4千円とするものであります。

議案第41号 令和8年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、職員の人事異動等による人件費の増額として、歳入歳出それぞれ393万2千円を追加し、予算総額を11億4,554万3千円とするものであります。

議案第42号 令和8年度美浜町下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、町内のマンホールポンプ場の改修経費等で、380万3千円を追加し、予算総額を10億1,412万8千円とするものであります。

議案第43号 美浜町税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、関係規定を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第44号 美浜町上水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定につきましては、地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、関係規定を整備したく本案を提出した次第であります。

以上、ご提案いたしました議案について、それぞれ概要をご説明申し上げましたが、不備な点等につきましては、その都度、私又は関係者からご説明申し上げますので、何卒慎重ご審議の上、妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。